

大井町食品ロス実態調査報告書

(1) 実施概要

■実施日時	平成 30 年 12 月 13 日 (木)
■作業場所	大井町剪定枝破碎場
■作業時間	8:30～16:30 (休憩・準備片付け含む) ※調査試料は 9 時頃搬入、組成調査作業は 9 時～16 時
■作業体制	大井町職員 4 名 (試料の搬入作業) 委託事業者 5 名 (組成調査作業)
■調査試料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 地域、①平坦部 (住宅地域)、②丘陵部 (農村地域) を調査対象とする。 ・ 2 地域合計で約 900kg (①が約 460kg、②が約 440kg) の試料から、合計で約 310kg の食品廃棄物を抽出、組成調査を行う。 ・ サンプルは平ボディ車で収集、収集したごみは全量を調査試料とした。

(2) 調査実施計画

1) 処理計画・目標等

「大井町一般廃棄物処理基本計画」(平成 18 年 3 月策定)に基づき、「スリムで持続可能なごみ処理を推進」を基本理念に、「住民、事業者、行政の役割分担と協働によるごみの削減」及び「現行廃棄物システムの効率化と推進」という 2 つの基本方針を設定しており、家庭ごみはその排出抑制と再資源化に努め、平成 32 年度までに 1 人 1 日当たり 466g/人・日以下にすることを目標として掲げている。

食品廃棄物に関連する施策としては、広報や町政懇話会等を通じて、食材の計画的な購入や食材の食べ切りなど発生抑制の啓発活動を行うとともに、段ボールコンポストを使用した、生ごみの減量化・たい肥化を推進しており、希望者に対しては無料で機材を配布するなど、町民が利用しやすい環境整備を行っている。

2) 対象とする一般廃棄物

大井町の家庭ごみの分別方法等について図表 1 に示す。食品ロスに関する調査は「燃やすごみ」を対象に調査を実施した。

図表 1 家庭ごみの出し方の概要（大井町）

項目	内容
家庭ごみの分別	・燃やすごみ、不燃ごみ、資源（古紙、布、容器包装プラスチック、びん、缶、ペットボトル）、有害ごみ、粗大ごみ、剪定枝
うち、「燃やすごみ」の内容	・週 2 回の収集 ・生ごみ（厨芥類）、プラスチック製品、革製品、ゴム類、繊維類、枝（太さ 5 cm まで）、その他 30 cm 程度までの可燃性のもの
ごみ袋の有料化	・家庭ごみの指定袋あり ・店頭価格の指定無し
その他	・容器包装プラスチックの収集あり（プラスチック製容器・包装類、発砲スチロール、汚れが落ちないものは燃やすごみへ） 週 1 回 ・古紙、布の収集あり（新聞、雑誌、ダンボール、飲料用パック、ざつ紙、汚れていない布類） 月 2 回

3) 調査対象地域・採取方法等の検討

調査対象地域は地域の特性を踏まえて、「①平坦部（住宅地域）」、「②丘陵部（農村地域）」の 2 地域とした。

各地域の特徴としては、「①平坦部（住宅地域）」は戸建住宅が多く、ファミリー層から高齢者層までの世帯が住み、近距離にはスーパーや飲食店などの商業施設がある地域、「②丘陵部（農村地域）」は農地が多く残っており兼業農家が多い地域である。

調査日当日の朝、ごみ集積所に家庭から排出された「燃やすごみ」を町職員が「①平坦部（住宅地域）」は 2t 平ボディ車 1 台で、「②丘陵部（農村地域）」は軽トラック 2 台で収集し、調査場所である大井町剪定枝破碎場に搬入した。

(3) 調査結果の概要

1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表 2）、2 地域の合計で 262 袋 897kg、1 袋あたりの平均重量は 3.4kg であった。地域別に見ると、①平坦部（住宅地域）が 135 袋 458kg、②丘陵部（農村地域）が 127 袋 439kg であった。

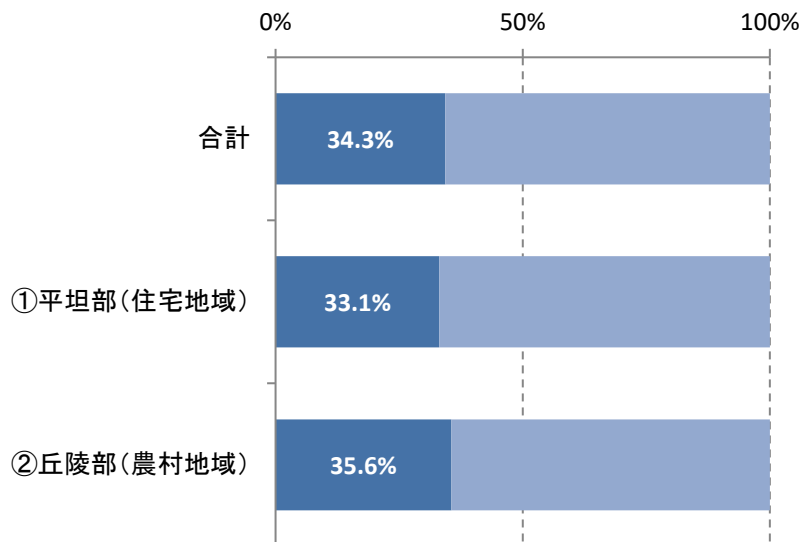
図表 2 調査対象とした試料概要（大井町）

	袋数(個)	重量(kg)	容量(L)	袋あたり	
				重量(kg)	容量(L)
合計	262	897	6,175	3.4	23.6
①平坦部（住宅地域）	135	458	2,885	3.4	21.4
②丘陵部（農村地域）	127	439	3,290	3.5	25.9

※合計は、2 地域の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表 3）、2 地域の合計では 34.3%、地域別に見ると①平坦部（住宅地域）が 33.1%、②丘陵部（農村地域）が 35.6%となっている。

図表 3 試料中の食品廃棄物の割合（大井町）



(単位:kg)

	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C(=B/A)	食品廃棄物以外 D(=1-C)
合計	897.02	307.91	34.3%	65.7%
①平坦部（住宅地域）	458.06	151.81	33.1%	66.9%
②丘陵部（農村地域）	438.96	156.10	35.6%	64.4%

※合計は、2 地域の調査結果を足して算出したもの

2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

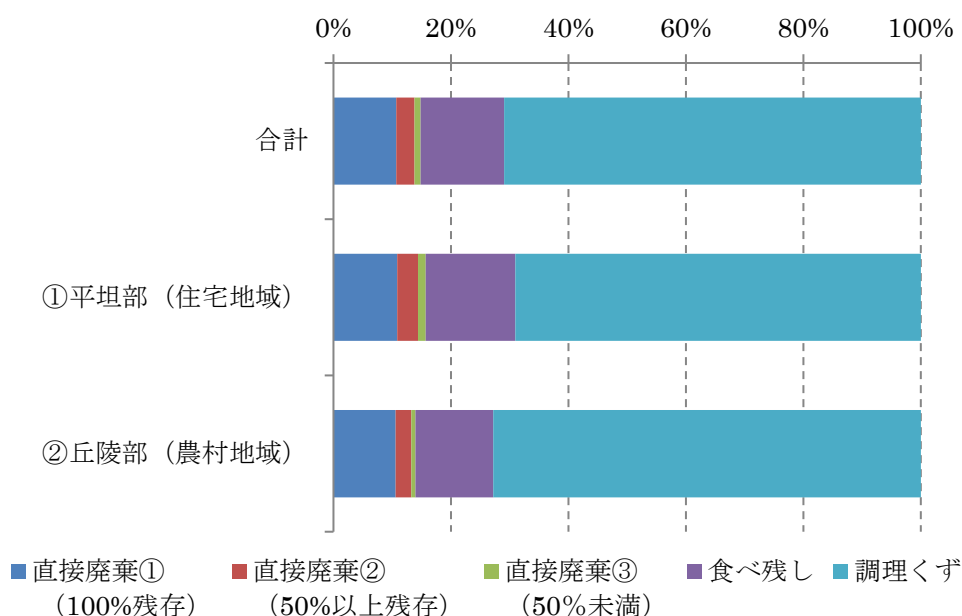
食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄及び食べ残しを食品ロスとする。

食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表 4）、2 地域の合計では 29.1%、地域別に見ると①平坦部（住宅地域）が 31.0%、②丘陵部（農村地域）が 27.2%となっている。地域によって食品ロスの割合は異なり、①平坦部（住宅地域）の食品ロスの割合は、②丘陵部（農村地域）よりも 3.8 ポイント多い。

直接廃棄に着目すると、2 地域の合計で全く手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち 10.7%を占めており、①平坦部（住宅地域）では 10.9%、②丘陵部（農村地域）では 10.6%と、①平坦部（住宅地域）が若干高くなっている。

同様に、食べ残しに着目すると、2 地域の合計では 14.2%、①平坦部（住宅地域）が 15.3%、②丘陵部（農村地域）が 13.2%と、①平坦部（住宅地域）が高くなっている。

図表 4 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（大井町）



	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	29.1%	10.7%	3.1%	1.0%	14.2%
①平坦部（住宅地域）	31.0%	10.9%	3.5%	1.3%	15.3%
②丘陵部（農村地域）	27.2%	10.6%	2.7%	0.7%	13.2%

※合計は、2 地域の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

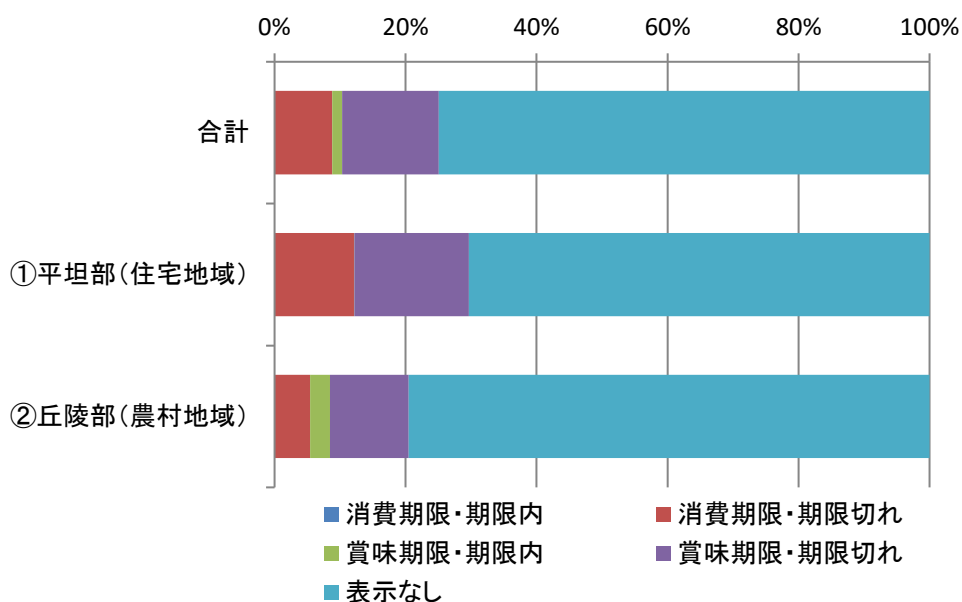
3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表 5）、2地域の合計では「表示なし」が最も多く 74.9%であり、消費期限の表示があったものは 8.8%（いずれも期限切れ）、賞味期限の表示があったものは 16.2%（期限内が 1.5%、期限切れが 14.7%）となっている。

消費期限に着目すると、いずれの地域においても「消費期限・期限内」のものはなく、消費期限切れのもののみであった。

賞味期限に着目すると、「賞味期限・期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち 1.5%、地域別に見ると②丘陵部（農村地域）が 3.0%で、①平坦部（住宅地域）の 0.1%より高くなっている。

図表 5 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（大井町）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	8.8%	1.5%	14.7%	74.9%
①平坦部（住宅地域）	0.0%	12.1%	0.1%	17.5%	70.3%
②丘陵部（農村地域）	0.0%	5.5%	3.0%	12.0%	79.5%

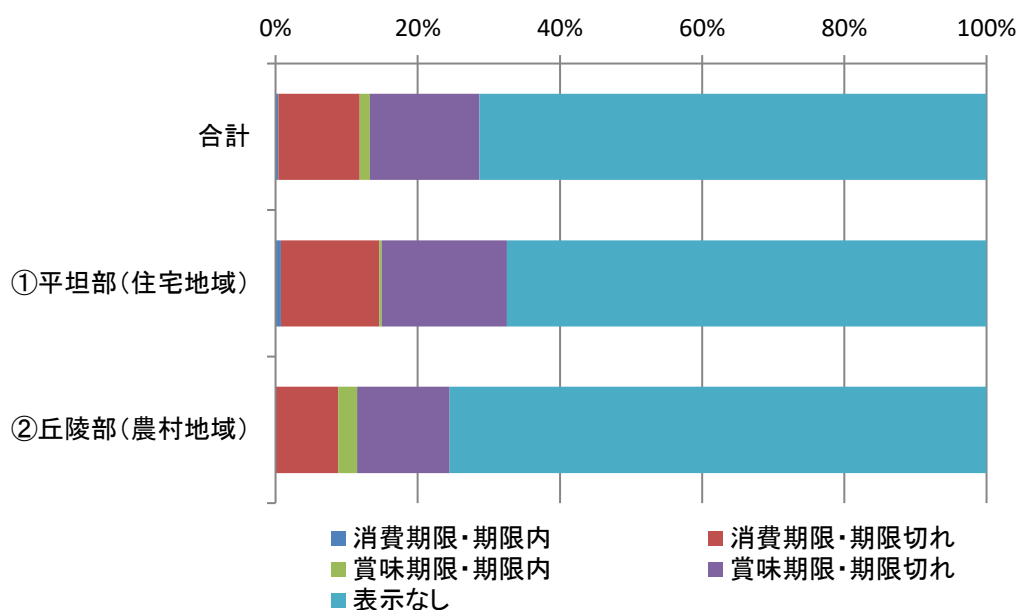
※合計は、2地域の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表 6）、2 地域の合計では「表示なし」が最も多く 71.3%であり、消費期限の表示があったものは 11.8%（期限内 0.4%、期限切れ 11.4%）、賞味期限の表示があったものは 16.9%（期限内 1.5%、期限切れ 15.4%）となっている。

消費期限に着目すると、「消費期限・期限内」のものが直接廃棄のうち 0.4%、地域別に見ると①平坦部（住宅地域）のみであった。

賞味期限に着目すると、「賞味期限・期限内」のものが直接廃棄のうち 1.5%、地域別に見ると②丘陵部（農村地域）が 2.7%で、①平坦部（住宅地域）の 0.4%より高くなっている。

図表 6 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（大井町）



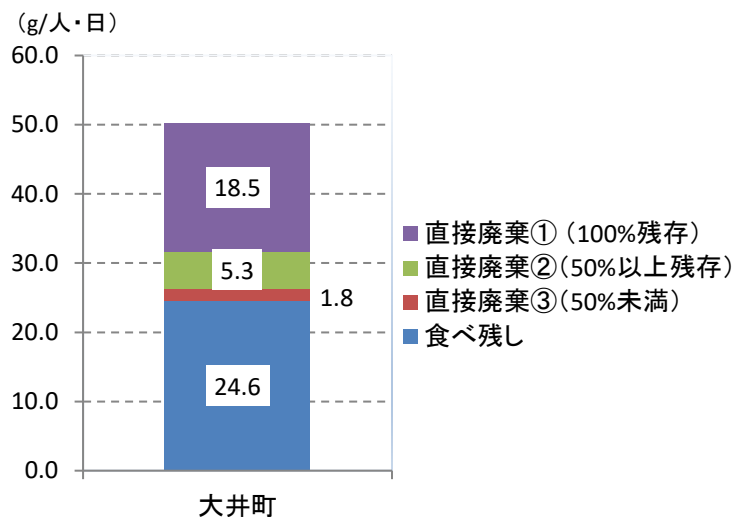
	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.4%	11.4%	1.5%	15.4%	71.3%
①平坦部（住宅地域）	0.8%	13.8%	0.4%	17.6%	67.4%
②丘陵部（農村地域）	0.0%	8.8%	2.7%	13.0%	75.5%

※合計は、2 地域の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

4) 1人1日あたりの食品ロス発生量

- 調査結果を踏まえて、1人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると 50.2g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（手付かず、100%）が 18.5g/人・日、食べ残しが 24.6g/人・日と推計された。

図表 7 1人1日あたりの食品ロス発生量（大井町）



(4) 調査実施時の写真



組成調査の様子（ごみ袋搬入）



組成調査の様子（ごみ袋計量）



組成調査の様子（分別作業）



調理くず（①平坦部（住宅地域））



調理くず（②丘陵部（農村地域））



食べ残し (①平坦部 (住宅地域))



食べ残し (②丘陵部 (農村地域))



直接廃棄 (①平坦部 (住宅地域))



直接廃棄 (②丘陵部 (農村地域))



直接廃棄 (2地域合計)